



2022

# 実践講座

## 私を活かす、暮らす街との関わり方

# PROBONO プロボノ

自分の暮らす街に関わりたいと思っても、どうやって始めたらいいのかわからない…

地域や社会に何か貢献したいけれどなかなか機会がない…

「プロボノ実践講座」は、そのような方にプロボノについて学んでいただき、実際に地域団体と一緒にプロジェクトに取り組むプログラムです。皆さんも、新たな人や地域との繋がりを作りながら、ローカルコミュニティに関わる1歩を踏み出してみませんか？

### お申込み

参加申込みフォームよりお申し込みください

<https://forms.office.com/r/tBYynZQmVc>

申込み締め切り  
8月22日(月)



### 第1回

## 入門編

- プロボノとは何か？
- 社会的課題・地域課題とは？



講師：高瀬桃子

日時 8月25日(木)  
19:00~21:00

定員 60名 (横浜市民優先となります)

料金 無料

プラス青葉台およびオンライン  
(ハイブリッド開催)

### 第2回

## 実践編①

- プロボノ実践に向けた心構え
- スキルの棚卸
- 地域団体紹介と課題共有

講師：高瀬桃子

日時 9月1日(木)  
19:00~21:00

定員 30名 (横浜市民優先となります)

料金 無料

プラス青葉台

※第2回・3回は連続講座となります。

### 第3回

## 実践編②

- ケース分析
- マッチングと今後のスケジュール



講師：治田友香

日時 9月8日(木)  
19:00~21:00

定員 30名 (横浜市民優先となります)

料金 無料

プラス青葉台

※第2回・3回は連続講座となります。

### 講師プロフィール

#### 高瀬 桃子さん

(関内イノベーションイニシアティブ株式会社)

東京都出身。横浜国立大学卒業。(公財)キープ協会環境教育事業部、(公財)日本野鳥の会普及室などを経て、2016年5月より現職。2016~2018年に横浜市経済局ソーシャルビジネス成長支援事業の一環として「プロボノ育成プログラム」を担当。

個人事業として非営利組織の広報支援も行っている。2015年ソーシャルビジネス・スタートアップ講座修了。2020年3月、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科修了。「プロボノ」の個人的意義をテーマに研究を行った。

#### 治田 友香さん

(関内イノベーションイニシアティブ代表取締役)

マンションデベロッパー、NPO支援組織、起業家支援財団を経て、2013年6月から現職。NPO法立法運動、自治体・企業のNPO支援策の企画を経験。「地域の課題に取り組む人やそれを応援する人を育てるための、講座事業や伴走支援事業等、さまざまなソリューションの提供を通じて、次の時代の街・社会の未来を担うエコシステムの形成を目指す」をコンセプトに、人材育成や組織の成長支援、調査研究やコンサルタント事業などに取り組む。

詳細は [https://massmass.jp/project/probono\\_2022/](https://massmass.jp/project/probono_2022/) をご覧ください

本事業は「次世代郊外まちづくり」の一環として関内イノベーションイニシアティブ株式会社が横浜市・青葉区・東急株式会社から委託を受けて実施するものです。



【プロボノ】職業や社会人経験で得られたスキルや知識を活かして行うボランティア活動

● 私を活かす、暮らす街との関わり方

次世代郊外まちづくり

「田園都市で暮らす・働くプロジェクト」とは

横浜市と東急電鉄（現 東急株式会社）は、2012年4月に「次世代郊外まちづくり」の取り組みを公民共同で推進することに合意し、包括協定を締結、2017年4月に第二期協定を、2022年4月に第三期協定を更新し、「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定に基づき、多摩田園都市を含めた郊外住宅地が抱えるさまざまな課題（高齢化、人口減、老朽化、コミュニティの希薄化など）を、産・学・公・民の連携、協働によって解決し、持続可能なまちづくりを推進しています。今後、「次世代郊外まちづくり」の成果を、地域の特徴にあわせて、東急田園都市線沿線のその他の地域へ展開していきます。

2018年からスタートした「田園都市で暮らす・働くプロジェクト」は、持続可能な郊外住宅地のためには、地域で新しい働き方が生まれ、充実したライフスタイルを送れることが大切だと考え、さまざまなプログラムを通じて、田園都市沿線の豊かで新しい暮らし方・働き方・楽しみ方を創出する取り組みです。

田園都市



【プロボノ】職業や社会人経験で得られたスキルや知識を活かして行うボランティア活動

地域団体

下記以外にも支援先団体を調整中です。詳細はWEBサイトをご覧ください。



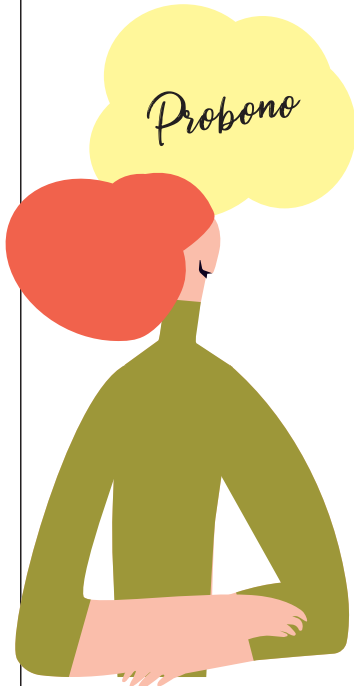
一般社団法人 横浜市青葉区医師会

青葉区在宅医療連携拠点は、青葉区医師会と横浜市が協働し、在宅医療のコーディネーターや在宅医療を担う医師への支援、医療・介護従事者への研修、市民への広報等を行っている。それらを通じ、病気を抱えていても、住み慣れた家などで療養し、自分らしい生活を続けたいと望む多くの方を、在宅医療・介護連携を充実・強化してサポートしている。



NPO法人 スペースナナ

「世代を超え、性別、国籍、障害のあるなしに関わらず、多様な人々が出会い、つながり、ゆるやかに支えあい、元気になれる場をつくる」と11年前にオープンしたあざみ野のコミュニティカフェ。ギャラリーやカフェ、スタジオ、フェアトレードショップ、地域のミニ図書館「ナナ文庫」などがある。ギャラリーでは年1回、地域の障害のある方たちによる作品展「ココロはずむアート展」を開催。コロナで休止中の地域交流食堂「ナナ食堂」にかわりフードパントリーを実施するなど多岐に渡る活動を行っている。



スケジュール

2022年 8～9月

プロボノ実践講座の講義（全3回）



2022年 9月中旬

プロジェクト参加意向の確認 & プロボノチーム編成



地域団体との顔合わせ、プロジェクトスタート!!（4ヶ月）

- プロボノチーム内で各種検討やリサーチを実施
- 地域団体とプロボノチームで情報共有や調整



2023年 2月

最終報告会

詳細は講座にて説明いたします。

昨年度参加者の声

voice

短期間でしたが、多くの気づきをいただきました。特に、会社の中には、知ることができなかったことや会うこともできなかった人に出会えました。

地域にご縁ができてよかったです。

仕事をしながら参加することは、時に大変でしたが、達成感があり参加して良かったと思います。

チームの中で自身の強みが再認識でき、期間内にアウトプットを出せた。

本業とは別世界の環境下でそれなりのエネルギーが必要だったが、刺激と学びとワクワク体験、達成感や充実感を実感できたし、感性を磨く効果もあって楽しかった。

